

## 【目次】

1. 新企画展「鬣（たてがみ）を持つ男・西尾末廣」がスタート、3月8日！
2. 本年3月12日は「日本労働運動の父」鈴木文治の没後75年！
3. ユニテリアン教会・惟一館から127年、明治27年3月25日！
4. 渋沢栄一ら友愛会を創り、支えた人たちの記念切手を販売中、定価1000円！

### 1. 新企画展「鬣（たてがみ）を持つ男・西尾末廣」がスタート、3月8日！



友愛労働歴史館は3月8日（月）から新しい企画展「鬣（たてがみ）を持つ男・西尾末廣—労働運動・政治運動に生きてきた生涯—」（2021.3.8～7.5）をスタートしました。

これは労働運動家、政治家として知られる西尾末廣（1891.3.28～1981.10.3）の生誕130年、没後40年を記念したもの。西尾は戦前の友愛会・総同盟を代表する労働運動家で、主として大阪・関西で活躍し、「東の松岡駒吉、西の西尾末廣」と評されました。戦後は政治の世界に軸足を移し、1945年の日本社会党結党を主導し、片山哲連立内閣では官房長官を務めています。



その後、容共化した社会党を飛び出し民社党を結党するなど、「百折不撓」をモットーに戦い抜いた西尾は、風雪の人（加藤日出男）、鬣（たてがみ）を持つ男（芳賀紘）と呼ばれました。

企画展は第1部「風雪の人・西尾末廣—1891年～1981年—」は、「戦前期、友愛会・総同盟系の労働運動で活躍する一方、大正15年の社会民衆党にも参加し、日本で初めての無産政党出身政治家となった西尾末廣。戦後は日本社会党や民社党の結党を主導し、革新系を代表する政治家として生きてきた西尾末廣」の90年の生涯を写真や解説パネルで紹介しています。

同第2部「百折不撓の人・西尾末廣—労働運動に生きて—」は、戦前期、友愛会・総同盟系労働運動は非合法下、国家権力の弾圧を受ける一方、共産主義者や無政府主義者との戦いにも翻弄されました。ここでは戦前期の労働運動家・西尾末廣について解説しています。



同第3部「鬣（たてがみ）を持つ男・西尾末廣—政治運動に生きて—」は、戦後、政治運動へと軸足を移し、日本社会党や民社党の結党を主導した政治家・西尾末廣について紹介しています。

西尾は1948（昭和23）の昭和電工事件に巻き込まれますが、地裁・高裁・最高裁で無罪となり、冤罪が証明されます。しかし、政治家として苦難な10年を強いられています。

### 2. 本年3月12日は「日本労働運動の父」鈴木文治の没後75年！

2021年は友愛会創立者で「日本労働運動の父」とされる鈴木文治（1885.9.4～1946.3.12）の没後75年となります。「広辞苑」（岩波書店）は鈴木文治について、「労働運動家。宮城県生まれ。東大卒業後、友愛会（のち日本労働総同盟）を創立。労働組合運動に尽力。社会民衆党代議士。（1885～1946）」と紹介しています。

鈴木文治が友愛会を創立した時、彼はユニテリアン教会・惟一館の職員であり、初期の友愛会を支えたのはユニテリアン教会（米国ユニテリアン協会。クレイ・マッコレーイ牧師）です。このため友愛会は「ユニテリアン・ミッションの一つ」と評する人もいます。

友愛会は後に総同盟（戦前・戦後）、同盟（全日本労働総同盟）を経て、現在の連合へと発展します。しかし、友愛会の流れは旧同盟系以外に旧総評系、旧中立労連系、旧新産別系などに引き継がれています。

### 3. ユニテリアン教会・惟一館から 127 年、明治 27 年 3 月 25 日！



友愛会誕生の地、ユニテリアン教会・惟一館（現在の友愛会館）は 1894（明治 27）年 3 月 25 日、献堂式（開館式）を迎えています。建設したのは米国ユニテリアン協会、彼らを招聘したのは慶応義塾の福澤諭吉らです。

米国ユニテリアン協会のクレイ・マッコレーイ牧師（左写真）は明治 20 年に来日し、明治 27 年に東京・芝にユニテリアン教会・惟一館を建設します。



彼らは惟一館を拠点にユニテリアン・ミッション（自由の拡大、社会問題の解決など）をスタートしました。



1898（明治 31）年、惟一館でユニテリアン教会の安部磯雄（右写真。早大教授。日本野球の父）らにより社会主義研

究会（後の社会民主党）が創られ、ここは日本社会主義運動の発祥の地となりました。

1912（大正元）年にはユニテリアン教会職員の鈴木文治により友愛会が創立され、ここは日本労働運動発祥の地となりました。

### 4. 渋沢栄一ら友愛会を創り、支えた人々の記念切手を販売中！

友愛会創立 100 周年を迎えた 2012 年 8 月 1 日、友愛会創立を記念する会（高木剛会長）が記念式典を開催しました。その折に制作したのが友愛会創立 100 周年記念切手シート「友愛会を創り、支えた人々」（80 円切手 10 枚。販売価格 1000 円）です。



この記念切手シートは友愛会を創り、発展させた人たちとして鈴木文治、松岡駒吉、西尾末廣を取り上げています。また、友愛会を支えた人々として安部磯雄、賀川豊彦、渋沢栄一、新渡戸稲造、吉野作造、クレイ・マッコレーイ牧師、キャロライン・マクドナルド宣教師を挙げています。

なお、現在の定形郵便物（長 3）は 82 円。しかし、本シートの記念切手は当時の料金の 80 円です。そのため現在では本記念切手をそのまま使用することができません。追加料金 2 円が必要となりますので、購入希望者は注意してください。購入申込は友愛労働歴史館まで E メールで。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール [yuairedokishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairedokishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairedokishikan.com>

惟一館から 127 年、友愛会から 109 年